

わたしの 妊娠報告書

記載日 2010年 7月 11日

おめでた宣言日	平成 22年 6月
年齢 (29) 歳	平成 (15) 年 (1) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (4) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	(/) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精	(/) 回
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精	(2) 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	(?) 回
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精	(/) 回
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精	(8) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

葉酸を摂取し、栄養バランスも考えた食事を心がけました。又、治療の成果が出なかった時も、気持ちも切り変えあまりくよくよしないようにしました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

顕微鏡授精の為の採卵や、筋肉注射のじりり長い痛みは、
何度やってもなかなか慣れませんでした。

これだという治療方法がなかなか見つからず、色々なパターンを探
ていく感じだったので、気長に治療に取り組んでいかなければ続け
られませんでした。

その他 (通院・治療費・家族など)

自宅、職場から比較的近く助かりました。顕微鏡授精中心
の治療となったので、費用は思いのほか多額になりましたが、助成金制度
の改正により多少は負担が軽くなりました。主人は積極的に
治療に関わり、くれました。精神的に弱っていた私を励まし、
前向きになれるようサポートしてくれました。

治療中の方へのアドバイス

原因もは、きりわからず、何度も大変な治療を乗り越えていくに
は、精神的にもかなりきついものがありますが、パートナーの支えや
病院の先生、スタッフの皆さんを信じて、少しでも可能性がある
ならば、諦めず治療を続けてみて下さい。

スタッフへのご意見など

何度も妊娠判定で(-)と知らされ、涙を必死でこらえた日々
でしたが、採卵、移植の度に手を握ったり、肩を磨いたりして
少しでも不安を取り除けるよう気付かせて下さった看護師さんや
私が妊娠できるように祈ってくれていた方々、どんなに忙しくても、穏和
に、丁寧に診察して下さいました。本当にありがとうございました。